Clover

立山北部小学校
４年　学年だより
令和４年度 12 月号

いよいよ今年もあとわずか

立山連峰も美しく雪化粧をし、本格的な冬の到来を感じる季節となりました。

子供たちは、４月から学校生活の様々な場面で、上学年の一員としてどのように行動したらよいかを考えながら活動をしてきました。運動会や縦割り班活動での子供たちの様子等から、上学年の一員としての意識の高まりが感じられます。一年の総まとめの１２月に、自分の行動を振り返り、ますます下級生のお手本になれるようにしてほしいと思います。

また、学習面では、５年生での学習に向けて基礎・基本の定着を図りたいと思います。そのためには、日々の授業への集中力、家庭学習の十分な確保が必要となります。特に冬休みは、自分の苦手な教科に取り組んだり、得意な教科を伸ばしたりするのに最適です。冬休みをいかに過ごすかで、３学期のスタート、ひいては５年生のスタートに大きく影響します。子供たちが新しい年へ、そして進級に向けて力強く進んでいけるように、生活面、学習面でのサポートをよろしくお願いいたします。

環境チャレンジ10（後編）

１１月２２日（火）に地球温暖化防止活動推進委員の方が来校され、夏休みに家庭で取り組んだ「とやま環境チャレンジ１０」のまとめを行いました。まず、「必ずチャレンジ」や「選んでチャレンジ」、いずれもよくがんばって取り組んだことをほめていただきました。その後、取組によって、みんなで減らした二酸化炭素、取組の効果を教えていただきました。

◆減らした二酸化炭素　　約７３０kg
◆サッカーボールで例えると…　約７２，９５５個分
◆杉の木で例えると…　　約５２本分
◆節約できた金額は…　　約７３，０３８円

この結果を知り、子供たちはとても驚いていました。一方、できなかったチャレンジは、**「ゲームの時間を減らす」「早寝早起きを心がける」**でした。この結果には、「あ～、そのとおり」「これは無理！」という声が上がっていました。

このまま地球温暖化が進むと、2100 年には、気温が平均 4.8℃上がると予想されています。平均気温がこれだけ上がると、一年中台風やゲリラ豪雨が起こるなど、地球環境に与える影響は大きく、今のような生活はできなくなるそうです。しかし、今からみんなが地球温暖化防止対策を実践すると、1.7℃までに押さえられるそうです。快適な地球環境を守るために、無駄なエネルギーの「もったいない」を減らすことを、無理をせず、続けていくことが大切であると教えていただきました。子供たちは、学校でのペットボトルキャップキャップ回収や、家庭での取組を続けていこうという気持ちを新たにしました。

手回し発電機でおもちゃを動かしたり、電球を点けたりしました。風力発電も試しました。

わたしは、みんなで減らした二酸化炭素の量が７３０kgだったので、すごくがんばったと思いました。わたしは、「テレビを見る時間やゲームをする時間を減らす」と「早寝早起きを心がける」がほとんどできなかったので、がんばりたいと思います。それは、みんなが少しずつでもいいから続けることが地球温暖化防止につながると聞いたからです。これからも地球環境のことを考えていきたいです。

だれもがくらしやすい町づくり～福祉学習～

総合的な学習の時間では、「だれでもがくらしやすい町づくり」をテーマに学習を進めています。

１１月２８日（月）、「福祉学習～手話教室～」を行いました。実際に聴覚に障害のある方と手話通訳者の方に来ていただき、耳が不自由な方の生活の様子や手話を教えていただいたりしました。玄関のチャイムの音、電話の音、目覚ましの音、車の音等、生活の中の様々な音が聞こえないことは、とても大変なことを知りました。そのため、光や振動で伝える機械があり、耳の不自由な方にも伝わる工夫があることも知りました。また、手話はもちろん、身振り・手振りや筆談、指文字、空書き等も使えることを教わりました。今後も総合的な学習の時間を通して、障害のある方やお年寄り等、様々な人への理解を深めていきたいと思います。

「おはよう」「お願いします」等の挨拶や自己紹介、「大きな歌」の手話の仕方を教えていただきました。手話に関心をもち、熱心に練習していました。

わたしは、耳が不自由な方の生活には、たいへんなことがたくさんあることを知りました。そして、いろいろな工夫があることも知りました。目覚まし時計の音が聞こえないので、枕の下に振動する機械を入れておいたり、家に誰か来たときは、光で分かるようにしたりしておられるそうです。東日本大震災では、たくさんの障がい者の方がなくなったそうです。みんなで助け合える世の中にしていきたいと思いました。

国語科の学習から…

「慣用句」は、二つ以上の語が結び付いて元の意味とは違った特定の意味を表すものです。慣用句の意味や使い方を知り、日常的に適切に活用できるようになれば、伝えたいことを分かりやすくしたり、会話を楽しんだりすることができます。そこで、「慣用句」の学習では、国語辞典や慣用句辞典等を活用して慣用句を調べ、「慣用句クイズ」を作りました。クイズを考えたり、クイズを出し合ったりする活動を通して、慣用句の意味や使い方に親しむことができました。この学習をきっかけに、日常生活においても積極的に慣用句を使ってほしいと思います。

調べたことをもとに、タブレットを使ってクイズを作りました。

作ったクイズをグループで出し合いました。

おすすめの家庭学習

- 国語・教科書にある短歌や俳句をリズムよく詠む練習をする。好きな短歌や俳句を覚える。
- 算数・三角定規やコンパスを使って、垂直や平行な直線をひいたり、平行四辺形やひし形をかいたりする。
- 理科・星座早見盤を使って、冬の星座を観察する。
- 社会・新聞を読み、富山県の産業や祭り、観光等の記事についてまとめる。
- 総合・地球温暖化を防ぐために自分たちにできることを調べたり、実践したりする。
- 音楽・リコーダーで「オーラリー」の練習をする。